

第三次世界大戦：

カナダの解体完了



併合前の秘密金融・準軍事攻撃：米国主導の世界金融崩壊、外国人

誹謗

シドニー・クライン

WW111:

カナダの解体完了

併合前の秘密の金融・準軍事的攻撃：
米国主導の世界金融崩壊、外国人誹謗

シドニー・クライン

「地球の敵はロシアではなく米国である。したがって、ロシアは中傷に対して核による報復を行う可能性すらある」

「あるいは...こうした中傷は、米国の北極圏占領を正当化するために仕組まれた可能性もある。これら全てが、**準ビジネスパートナーと偽りの敵**（米国、ロシア）との共謀を象徴している」

「9.11と同様に、米国の企ては**演出された存在しない脅威**を伴い、そこから利益を得るだろう...」

「...**ハワイに関しては**、米国は日本と英国に対する自衛の必要性を主張していた。一方は公然と関心を示さず、もう一方は既に撤退して帰国していた。**米国の帝国主義の方程式は決して変わっていない**。犠牲者のリストを見よ——今日に至るまで。」

「...**大陸の資源は米国を自給自足させる**。これにより米国はメキシコとカナダを含む大陸規模の防衛圏を構築し、**債務不履行**を可能にする。債務免除を保証する見返りに両国を『購入』するという米国の約束は、最終的に、そして最も痛ましい形で、**例外なく全世界の犠牲の上に成り立つ**だろう。」

「本書で提示された文書及びその他の圧倒的証拠によれば、中南米は米国の侵略という重大な危険に晒されている」

「...米国が自国債の債務不履行によって**他国の経済を破壊する能力**」

「...**預金者負担による銀行再建**（**バイルイン**）の舞台が整えられている...

「したがって米国は、富を民間部門の帳簿上に残したまま、債務の大半あるいは全てを解消する。民間部門——企業と超富裕層——は完全にリセットされる。米国が大陸化によってあらゆる需要を満たすからだ。**これは必ず起こる！**」

「カナダは銃口を突きつけられ、主要な水資源と鉱物資源の大半を含む北部を割譲することで、自らの生存を『交渉』するだろう。」

「**アジア**（中国と日本）は、本書で論じた通り、金融戦争の手段とその他の手段を組み合わせた米国の攻撃を受ける。物理的な戦争が勃発する可能性もある。」

「...中国叩きと政府広告は、すべて米国の債務不履行と後の第三次世界大戦への布石だ。あるテレビ広告は『**米国国境内の敵**』と称し、**散歩する中国人の映像**を流した。この試金石的な広告は、確か一週間しか流されなかった」

2024年1月の記事によると、**ピエール・ポワリエヴル**はカナダ国民への緊急訴えの中で、**国連におけるカナダの議席と関連機関との一切の関係を放棄するよう求める**請願を提出した。これには世界保健機関（WHO）も含まれる。その文言は明確であった：

「我ら署名者、カナダ市民及び居住者は、議会下院に対し、**国連及びWHOを含むそのすべての下部組織からのカナダの迅速な脱退を緊急に実施するよう要請する**」



"民間セクター - 企業と超富裕層 - はリセットされる...米国が大陸化を通じてすべてのニーズを満たすため。これは起こる!"

"...中国人、ロシア人の悪魔化、そして大陸化の結論と一致する。"

"すべての債務を帳消しにし、米国の富と領土を拡大すること - デフォルトに向かう債券によって資金提供される軍事力に支えられた - はこの本の中心である。"

"...米国は公的債務をキャンセルする...デフォルトは、国際的に説明責任のある民主主義のように、国家の支払不能を示唆するものではない。"

"...ピエール・ポワリエールは、カナダの国連における議席を放棄し、その関連機関とのすべての関係を断つ請願を進めた。"

"...ロシアが関与するヨーロッパでの戦争は、米国がカナダとグリーンランドに恒久的な拠点を設置する口実を生み出す。また、英連邦がカナダに対する条約義務を果たす能力は損なわれる。"

"ロシアのニーズは：北極、共同投資、自衛の確保。カナダのニーズは：主権の維持、外貨と金準備の再構築、高収益の共同投資。方法は以下の通り："